

2024年  
4/6(土)~6/30(日)

# マツオヒロミ展

2023年 第52回  
日本漫画家協会賞萬画部門大賞受賞！

海外からも注目を集める  
気鋭のイラストレーター  
マツオヒロミの  
東京初個展！

図版①

作品集「万華鏡の庭」カバー

2023年

\*本展覧会メインビジュアル  
文字のないバージョンの画像をお送りします。

弥生美術館 プレスリリース



レトロモダンな世界を美しく描いて人気のイラストレーター・マツオヒロミ (1980-)。

匂いたつような色香をまとった女性像はもちろんのこと、衣装・装飾品・建物・ロゴなど、画面の隅々にまで“マツオヒロミズム”が貫かれており、独自の作品世界がみる人を魅了してやみません。

本展では代表作『百貨店ワルツ』『マガジンロンド』（実業之日本社）をはじめとして、2024年4月刊行予定の最新刊（河出書房新社）についても、いち早く展覧いたします。

気鋭のイラストレーターの、記念すべき東京初個展です。



## 魅力① レトロ+モダン

レトロな和モダンの世界を美しく描いて20~40代女性に人気のマツオヒロミ。

明治・大正・昭和初期を舞台にした作品が多く、作画の際には徹底的に資料を研究します。しかし、そのままなぞるのではなく、その上で独自のモダン・アレンジを加えています。



## 魅力② ファッション・センス

和装の女性像は着物の柄、着付け、小物、アクセサリ、メイク、髪型に至るまで、本人が創意工夫を凝らして描き出したもの。アンティーク着物愛好家からの注目も集めています。クラシクな洋装を描くことも得意とします。最新作では1900年~1990年までのランジェリーの歴史にも挑んでいます。



図版③ 「丸窓」  
カレンダー  
2017年  
原画

図版② 「ダンス」  
弥生美術館のための  
描き下ろし 2017年

## 魅力③ ショート漫画

漫画家でイラストレーターの水たせせいぞう氏を敬愛するマツオヒロミ。8ページ程度のショート漫画も描きます。ふとした心の動きをスケッチ風に描くのがマツオ漫画の魅力。誰もが共感できる瞬間に光をあてることで、みる人を作品世界に引き込みます。



© Hiromi Matsuo / 実業之日本社

## 魅力④ 優れたデザイン感覚

同人誌制作からキャリアをスタートさせたマツオヒロミ。絵を描くだけでなく、誌面のレイアウト、文章、文字の入れ方、ロゴにまでこだわって作画しています。

© Hiromi Matsuo / 実業之日本社



図版⑤ 同人誌 「It's for you」より  
2013年



図版⑥ 同人誌 「Lovely but Lethal」より  
2014年

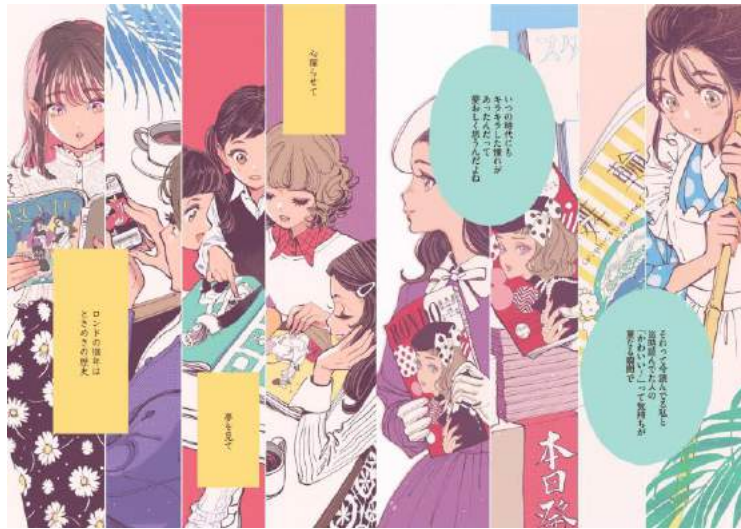
図版④ 「Are you ready?」  
「マガジンロンド」より 2022年



# 展示の見どころ

## ①コミック&イラスト

イラストレーションに漫画を添えた新しい形の展覧会。  
マツオヒロミのイラスト作品は練り上げられた世界観で築かれていますが、〈漫画〉という入口があることで、初めて接する人でも、すんなりと作品世界に入ってゆけます。  
デパートで感じる高揚感、新しい事柄にチャレンジする時の気持ち、雑誌に対する愛着など…、誰もが共感できる親しみやすさを演出します。



© Hiromi Matsuo / 実業之日本社

## ②三紅百貨店を再現

『百貨店ワルツ』で描かれた三紅百貨店を展示室内に構築。1F服飾雑貨部、2F美粧部、3F呉服部…など、作品世界に没入できます。  
大正ロマンの雰囲気漂う弥生美術館に、20世紀初頭のデパート三紅百貨店が登場します。

## ③架空の雑誌『 Rond 』を 実物展示

創刊100周年を迎える女性誌『Rond』という設定で、記事や広告、関わった人々のエピソードを描いた近著『マガジンRond』。遊び心に溢れた作品世界をリアルに体験していただきます。  
1922年の創刊号から2022年の最新刊まで『Rond』の〈実物〉をズラリと並べます。(マツオヒロミと弥生美術館で鋭意制作中です)

## ④作中の古書店を再現

『マガジンRond』のヒロイン・ジノがオーナーをつとめる古書店「ル・ソレイユ」を再現します。  
創作のヒントとなった弥生美術館収蔵資料も併せて展示します。

## ⑤最新作を語り下ろしコメントで紹介

現在準備中の最新作の内容をいち早く展観。マツオヒロミの語り下ろしコメントを掲示します。  
本作に込めた想いを来館者にお伝えします。

図版⑦「夏の終わりのル・ソレイユ」より  
『マガジンRond』より 2022年



© Hiromi Matsuo / 実業之日本社

図版⑨同人誌「百貨店ワルツ」  
ポストカード 2014年

図版⑧「5階喫茶室開店披露ポスター」  
「百貨店ワルツ」より 2016年



©Matsuo Hiromi, d/art taipei



© Hiromi Matsuo / 実業之日本社

図版⑩『ROND』1957年10月号表紙  
『マガジンRond』より 2022年

図版⑪「山茶花之月」  
d/art taipei のための描き下ろし 2023年

## マツオヒロミ プロフィール

1980年鳥根県松江市生まれ。

1999年より神戸市在住。大学卒業後は漫画家を目指しながら神戸市の古書店で働く。

2010年よりイラストレーターとして活動開始。同人誌を多数発行し、人気を博す。

2016年「百貨店ワルツ」（実業之日本社）にて商業誌デビュー。大ヒットとなる。抜群の色彩感覚と練り上げられた構図、ディテールへのこだわりと洒落た感性により描かれる絵が「美麗」と評され人気を集める。

書籍の挿画や挿絵、広告ポスターなどのクライアントワークなども多数手がける。

その人気は海外へも広がり、2023年には台北で展覧会が開催された。

2013年より岡山県在住。岡山県出身の藤井風の公式グッズも手がける。



## 主な著書

「百貨店ワルツ」（実業之日本社／2016年）

「ILLUSTRATION MAKING & VISUAL BOOKマツオヒロミ」（翔泳社／2016年）

「秘密 谷崎潤一郎×マツオヒロミ」（立東舎／2022年）

「マガジンロンド」（実業之日本社／2022年）

「マツオヒロミ作品集 万華鏡の庭」（玄光社／2023年）

## 主な展覧会

2017年 「命短し恋せよ乙女～マツオヒロミ×大正恋愛事件簿」 東京・弥生美術館

2018年 「百花繚乱 マツオヒロミ展」 鳥根・平田本陣記念館

2019年 「胡蝶の夢 マツオヒロミ展」 岡山・新見美術館

2022年 「竹久夢二×マツオヒロミ トキメキ大正ロマン」 岡山・夢二郷土美術館

2023年 「大正ロマン×百段階段～文豪が誘うノスタルジックの世界～」 東京・ホテル雅叙園東京

「山茶花之月 マツオヒロミ台湾初個展」 台北・d/art

展覧会名称	マツオヒロミ展 ～レトロモダンファンタジア～
会期	2024年4月6日（土）～6月30日（日）
休館日	月曜日・5月7日（火） *ただし4月29日（月・祝）、5月6日（月）開館
開館時間	10：00～17：00（入館は16：30まで）
会場	弥生美術館 1階～2階
同時開催	弥生美術館3階会場—高島華宵展 ←館内メンテナンスのため休室します 竹久夢二美術館 「夢二がえがく動物ワンダーランド ～大正ロマンのイラスト&デザインを中心に～」
入館料	一般 1000円 大高生 900円 中小生 500円 *竹久夢二美術館と併せての料金
住所	弥生美術館 〒113-0032 文京区弥生2-4-3 TEL：03（3812）0012 FAX：03（3812）0699
交通	東京メトロ千代田線〈根津駅〉1番出口／南北線〈東大前駅〉 1番出口よりいずれも徒歩7分 JR上野駅 公園口より 徒歩20分
HPアドレス	<a href="https://www.yayoi-yumeji.museum.jp">https://www.yayoi-yumeji.museum.jp</a>
特別協力	実業之日本社、河出書房新社、玄光社
主催	弥生美術館 毎日新聞社

## ◆ Information ◆

展覧会に合わせて、オリジナルの新作グッズを多数ご用意いたします。  
美術館ショップのほか、毎日新聞社オンラインストア「まいにち書房」  
でも通信販売いたします。（※一部商品を除く） →



◆内覧会開催◆ 4月5日（金）15:00-17:00 マツオヒロミ来場予定。個別取材もお受けします。

この展覧会についてのお問い合わせは 弥生美術館 内田静枝 までお願いします。  
TEL：03-3812-0012 FAX：03-3812-0699

「マツオヒロミ展」 画像使用申込書

画像送付日 月 日 必着

掲載誌（紙）／放送予定番組名	
発売／放送予定日	
会社名・所属／ご担当者名	
ご住所 〒	
E-mail	
TEL	FAX
通信欄	

プレスリリース掲載の図版につき、メールで画像データをお送りします。

■図版番号 ご希望の図版を ○印で囲んでください。（図版番号はプレスリリース参照）

**1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11** チラシ

\* デジタルデータの二次利用は禁止です。ご利用後は破棄していただきたくお願い申し上げます。

ご希望の場合は本紙に必要事項をご記入の上、FAX 03-3812-0699 迄 お送りください。

弥生美術館写真（外観／展示室）等、他に必要とする資料がございましたらご連絡ください。

著作権はマツオヒロミが有しますが、本紙掲載画像を展覧会広報の用途で使用する場合に限り、使用許可を得ています。図版使用の際には本状に明記したクレジットを必ず入れてください。

■読者プレゼント招待券（5組10名） 希望する 希望しない

■掲載誌（紙）ご送付のお願い

本展に関する記事をご掲載いただいた際には、掲載誌（紙）をお送り下さいますようお願い申し上げます。  
【送り先】 〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-3 弥生美術館 担当 内田

■内覧会 参加する 参加しない

4月5日（金）15:00～17:00 マツオヒロミ来場。本人による会場解説も予定。  
個別取材もお受けします。

\* ご参加の方には、内田より別途ご連絡させていただきます。